

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 現在、入居者の安全確保の為、やむを得ず身体拘束を行っているが、身体拘束をしない取組、また、必要であっても、拘束を行う時間の削減等を考える。	身体拘束をしない取組を考える。また、必要な時でも拘束を行う時間の削減を考える。	身体拘束が必要な入居者に至っては専門医への受診を行い、心身の状態を落ち着かせ、まず身体拘束の時間を削減していく。専門医への受診も続けながら、状態を確認し、最終的に身体拘束をなくすように取り組んでいく。	6ヶ月
2	35	災害対策 避難訓練時の地域住民の参加、またその方々の役割についての把握が十分とはいえない。	地域住民の協力を仰ぎ訓練を行い、その役割についても話し合う。	運営推進会議に参加いただく、民生委員、自治会長、地域住民の方々に、訓練を行う旨を相談、実施する際の協力をお願いする。また、その役割についても事前に相談をする等の取り組みを行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。